



1 本社と加工工程を行う第1工場。市内に4工場を所有
2 現場からの声を反映し積極的な設備投資で生産性向上を実現

3 事務所入り口には自社の技術をPRする加工品や賞状を展示
4 令和7年度神奈川県優良工場表彰を受賞

地元密着で取引拡大 製造現場の自動化を推進

(株)オーエイ 代表取締役社長 久保 誠 氏

オーエイ(中央区田名)は、精密板金から溶接、塗装、組立までを自社完結するワンストップ体制を構築し、半導体製造装置等の高付加価値分野で、安定した受注基盤を確立しています。「ものづくり補助金」などを活用した設備投資にも積極的です。最近では、ロボットなどを活用した自動化技術の研究開発に注力。「令和7年度神奈川県優良工場表彰」の受賞が決まり、「女性活躍推進さがみはらAction2025」にも参画しています。今回は、同社の久保誠社長にインタビューしました。

備の板金加工を手掛けていました。01年に私が2代目社長として就任し、ちょうど父と私が25年ずつ会社を経営してきたことになります。私が入社した30数年前の当社は、得意先がほぼ1社でした。それから得意先を増やし、1社への依存率を下げてきた歴史があります。毎年のように主要な得意先は変わりますが、現在は、半導体製造装置向けがメインとなっています」

2025年11月に創立50周年を迎えましたが、会社の変遷をどのように捉えていますか。

「父が創業者で、もともとはキッチンの上部に取り付けられている『レンジフード』と呼ばれる換気設

■景気変動や得意先の業績などに左右されず、安定的に経営を続けてこられた秘訣(ひけつ)は何でしょうか?

「やはり、得意先を複数に分散していることではないでしょうか。受注ポートフォリオの分散により特定顧客への依存を回避し、さらに、地産地消・地域密着を徹底することにより、受注から納品までの迅速な対応と強固な顧客関係を実現しています。相模原商工会議所を通じた学びやご縁などもあるため、地元密着型で受発注をしています。また、業界団体をはじめとした各種団体の役員を務めたり、会合に参加したりすることで培った人脈やそこで得られる情報が、経営判断にも役立っています」

■現在、市内に4工場を構えていますが、今後の設備投資計画はいかがでしょうか。

「現在、市内に4工場ありますが、手狭になってきたため、第5工場を市内に増設する計画です。また、最新設備への投資に加え、現場発信の改善提案からバリ(不要な突起物や残留物)取り工程でのロボット導入による省人化を進め、生産性向上と労働負荷低減に取り組んでいます。設備導入では補助金なども活用できれば良いと考えています。やはり、昨今の人手不足の中で、製造現場における自動化が大きな課題です。こうした自動化の提案は、現場の社員から自発的に出てきたもので、『私たちは自動化をどんどん進めていか

ないと生き残れない』という危機感の表れだと感じています」

■人材の確保や育成について、どのような取り組みをされていますか。

「後継者を見つけることが目下の課題で、そのために採用活動に力を入れています。会社としては“人的資本経営”を重視し、年間休日115日の確保や人事評価制度を完備しました。さらに、ダイバーシティ(女性活躍)の推進により、持続可能な組織づくりを推進しています」

(株)オーエイ

〒252-0244
相模原市中央区田名3039-16
TEL: 042-762-4021
https://oei.co.jp/